

○ライフコースアプローチとは…人の生涯を胎児期から高齢期に至るまで連続的に捉え、健康づくりに取り組む事

※幼少期からの生活習慣や健康状態は、成長してからの健康状態にも大きく影響を与えるため、子どもの健康、また妊婦の健康増進を図ることが重要

※高齢期に至るまで健康を保持するには高齢者の健康を支えるだけでなく、若い世代からの取組が重要

○静岡市健康爛漫計画(第3次)の重点的な取組事項は…

重点的な取組事項	内容
①生活習慣病予防・重症化予防	・大学や企業との連携により、市民の健康状態に関する分析を実施し、施策と取組に反映していく。 ・<u>ライフコースアプローチの考え方を踏まえ、若い世代から健康づくりの取組ができるような支援を実施し、将来の生活習慣病の発症を予防する。</u>
②誰もが健康になれる環境づくり	・ICTを活用した情報発信などを通して、<u>健康に関心の薄い人を含め、より多くの人に情報が届くようなアプローチを実施。</u> ・飲食店関係者への健康的なメニューの提供を実施する等、誰もが健康になれる環境づくりを推進。
③関係機関との連携と協働	・子ども若者世代への働きかけには教育機関、働き盛り世代には保険者や企業等、様々な関係機関との連携・協働する。<u>特に働き盛り世代への健康づくりの取組を推進し、健康寿命の延伸にもつなげる。</u>

令和7年度 第1回健康爛漫計画作業部会の報告

学童期～青壮年期までの年代層の健康づくりを推進するために工夫された取組（ライフコースアプローチの観点を踏まえた）

分野	事業番号	事業名	健康づくりを推進するために工夫していること、力を入れていること	重点取組事項の関連状況			取組の要旨	課名
				①	②	③		
1	118	「しずおかカラダにeat75」事業	若い世代が中心となり、健全な食生活を次世代へつなげていくことができるよう、大学(県大)の食堂を利用して、野菜摂取に向けた食に関するイベントを大学と共催で開催予定。年2回。 各企業の若い世代の食に関する課題を聞き取り、実情に合った内容の食育教室を実施する。	○	○	○	大学・企業との協働	健康づくり推進課
	119	栄養成分表示促進事業	栄養成分表示のある店(現166店舗あり)を増やすことで、市民が中食や外食等を利用する際に、自分にあった食事量を考えながら、食事や食品を購入できる環境を整える。飲食店向け新規チラシを作成し、配付を行っている。	○	○	○	注目を集める広報手法の導入	食品衛生課
2	230 441	静岡型スポーツインライフ推進パートナー	従業員や構成員等がスポーツ活動に対する支援や促進に向けた取り組みを行っている企業・団体を募集し認定表彰をすることで、スポーツ実施率を上げていくということを目的に実施	○	○	○	企業との協働	スポーツ振興課
	210	健康増進普及月間健康づくり普及啓発事業	職員や来庁者を対象とした庁内でのPRに加え、コジマ×ビッグカメラ静岡店と協働し店頭で啓発イベントを開催。他、スポーツ振興課主催のスポーツイベントでの啓発実施などターゲット層が集まる場へ出向き普及啓発を展開している。	○	○	○	企業との協働	健康づくり推進課
3	304	歯と口の健康に関する普及啓発事業	6月4日～10日の歯と口の健康週間や11月8日のいい歯の日に合わせ、啓発展示や広報紙への掲載、SNSを活用した情報発信等を行い、市民の歯科保健に対する意識の向上を図る。	○	○		注目を集める広報手法の導入	健康づくり推進課

令和7年度 第1回健康爛漫計画作業部会の報告

学童期～青壮年期までの年代層の健康づくりを推進するために工夫された取組（ライフコースアプローチの観点を踏まえた）

分野	事業番号	事業名	健康づくりを推進するために工夫していること、力を入れていること	重点取組事項の関連状況			取組の要旨	課名
				①	②	③		
4	410	自転車活用推進計画推進事業	自転車専用ウェブサイトや、自転車サポーター制度、イベントを活用し、自転車の楽しさや健康メリットの発信、また、自転車活用促進のため環境を整備。 NEXCO中日本と常葉大学や静岡ガスといった、自転車サポーター制度への登録団体とタッグを組んでいる。	○	○	○	大学・企業との協働	交通政策課
5	509	依存症対策事業（依存症関連問題研修会）	近年の若年層における市販薬・処方薬依存の問題を受け、特に 教育機関やこども若者支援機関などに研修 を受けて頂きたく、周知方法や開催方法を工夫（庁内向けチラシ配布、ホームページ掲載、しずここネット掲載）している。	○		○	関係各課・機関との連携	こころの健康センター
6	634	児童虐待防止啓発事業	全小・中学校・高校へ、児童虐待防止啓発のポスターを配布し掲示してもらい、こどもも保護者も相談先を知ることができるようにしている。また、 注目度の高いスポーツチーム（エスパルス・ベルテックス静岡）との協働 により、効果的な啓発ができるようにしている。ホームページへは、 こどもに向けたメッセージ（学校を通して配布の啓発物品にQRコードを添付） も掲載している。	○	○	○	注目を集める広報手法の導入	こども家庭福祉課
7	712	健康教育（母子）	幼少期からの健康的な生活習慣の獲得を目的に、育児中の保護者や学童、思春期の生徒 に対し情報提供できる場（講演会や総合学習など）を 関係各課と調整し、積極的に確保 している。	○		○	関係各課・機関との連携	健康支援課

～ご検討いただきたい内容～

- ①大学・企業と行政の協働・連携、関係機関との連携
における、具体的な手法アイデアについて
- ②注目を集める広報手法について、展開案